

平成28年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	情報処理D	授業コード	C175151
担当教員名	濱田 大助	科目ナンバリングコード	
配当学年	1	開講期	後期
必修・選択区分	選択	単位数	1
履修上の注意または履修条件	この科目で学習する内容は以後履修するネットワーク、データベース関連科目の基礎となる大切な内容が数多く含まれています。理解を確実なものとするために、授業以外の時間の予習復習も欠かさずに行ってください。基本的なPCの操作(ソフトウェア起動終了、日本語入力、ファイル処理等)と学内LANの利用(Webによる情報収集・および操作)メールソフト(スマートフォン含む)の操作ができること。		
受講心得	<p>欠席した学生はその授業で出された課題の回答、レポートの提出はできません。コンピュータを使用するIDとパスワードを確認しておく。体調不良の場合は遠慮せず申し出ること。</p> <p>教室内では以下の事項を禁止します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲食、喫煙、緊急以外の携帯電話操作 ・指示をしていない「話し合い」 ・講義に関係の無いサイト、漫画、雑誌の閲読 ・他の講義の演習課題の作業等 ・その他、直接講義と関係の無い事項 ・帽子、サングラス、イヤホン(PC接続含む)の着用 		
教科書	「栢木先生のITパスポート教室」 栢木 厚 著 技術評論社		
参考文献及び指定図書			
関連科目	情報システム1、情報システム2、ソフトウェア工学、ソフトウェア工学演習 情報処理A、情報処理B、情報処理C、経営学入門、ビジネス会計、情報メディアとビジネス、情報メディアと法・倫理、eビジネス経営論、プロジェクトマネジメント論		

授業の目的	この科目の目的は、情報処理に関する基礎的な知識のうち、システム開発と業務知識の分野に関する基礎知識を理解することです。具体的には、「開発手法」、「設計手法」、「プログラミング言語」、「テスト」、「開発環境」、「開発管理」、「システムの運用と保守」、「企業と情報システム」、「情報戦略」、「企業会計」、「経営工学」、「関連法規」、「数理応用」に関する基礎的な知識を学習します。この科目の到達目標は、基本情報技術者試験(経済産業省)の午前問題を解答できるようになることです。
授業の概要	教科書を用いて解説を行い、過去に出題された問題を解きます。またデータベース操作演習を交え解説します。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週： ガイダンス・調査	配布資料・WEBにて提示
第2週： 6-1 システム開発手法	配布資料・WEBにて提示
第3週：	

6-2 DFDとE?R図		配布資料・WEBにて提示
第4週： 6-3 画面設計とデータ設計		配布資料・WEBにて提示
第5週： 6-4 コード設計と入力チェック		配布資料・WEBにて提示
第6週： 6-5 モジュール分割		配布資料・WEBにて提示
第7週： 6-6 構造化プログラミング		配布資料・WEBにて提示
第8週： 6-7 オブジェクト指向		配布資料・WEBにて提示
第9週： 6-8 テスト手法 中間試験		配布資料・WEBにて提示
第10週： 8-01 データベース		配布資料・WEBにて提示
第11週： 8-02 関係データベース		配布資料・WEBにて提示
第12週： 8-03 正規化		配布資料・WEBにて提示
第13週： 8-04 SQL(基本)		配布資料・WEBにて提示
第14週： 8-05 SQL(並べ替え・グループ化)		配布資料・WEBにて提示
第15週： 8-06 バックアップとデータベース復旧		配布資料・WEBにて提示
第16週：期末試験		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	該当しない	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	
【知識・理解】	
【技能・表現・コミュニケーション】	
【思考・判断・創造】	

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		15点	15点	
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。	50点			
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	10点			
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	10点			

(「人間力」について)

※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	講義中指定する提出先に期限内に提出する事。万が一未完成の課題を提出してしまったときは、完了後再度提出するようにしてください。
発表・その他 (無形成果)	講義への取り組み態度として15回の講義を評価します。